

NPO 法人三木自然愛好研究会

三 愛 だ よ り



第 230 号 2023 (令和 5) 年 6 月 8 日 発行

発行事務局 : 三木市細川町増田 1204 番地

電 話 : 0794-82-3095 (北村) <http://mikisizen.gl.xrea.com>

世の中のひとのところにないけん
かはるにはやきあじさいの花/樋口一葉

＝令和 5 年度通常総会と記念講演会を開催＝

5 月 28 日、市民活動センター 2 階中会議室に、仲田市長、松原市議会議員、村岡県議会議員、鍋島教育振興部長を来賓に迎え、本年度通常総会を定刻どおりに開会。来賓あいさつの後、議長を選出し、議事に移りました。初めに、議案書修正について、正会員数は 81 名と説明がありました。次に定足数は、出席者 30 名、委任状 25 名で合計 55 名となり、正会員数の過半数を上回り、総会が成立していることを確認しました。議案審議では、提出された 2022 年度事業報告、同じく決算報告、監査報告、2023 年度事業計画案、同じく予算案の合計 5 件の議案は、いずれも可決されました。



北村理事長のあいさつ

永幡嘉之会員による記念講演会

「裏山から世界各地へ～森を歩き続けた半世紀～」

三愛研の会員でもある永幡さんは、幼稚園から高校まで三木市内に在住し、三木中学校では生物部員として小倉滋さんの指導を受けておられます。講演では、里山のいまを記録した写真を見ながら、草地の火入れやまき割りなど、里山が維持されてきた文化や技術が途絶える恐れがあること、安易な農作業イベントへの警鐘、言葉がひとり歩きしている日本の SDGs への疑問などを話されました。

また、若者と勉強会を続けることで目的意識の共有や知的好奇心を刺激し、草刈り作業や植物の個体数調査を若者と一緒に行われている永幡さんの情熱と活動に、今後の三愛研が進む方向性のヒントがあるように思いました。また、講演会には生物部の仲間も多く同席され、一緒に活動された芝直幸さんが当時作製されたチョウの標本が、会場に展示されました。(文と写真:米村環)



永幡嘉之さんの講演



芝直幸さんのチョウの標本

2023年5月中旬～6月上旬の事業報告

5月12日(金)三木山森林公園観察会事前打ち合わせ 15:00- 3名

5月20日(土)ヤブレガサモドキ株数調査 ネスタリゾート、増田のため池 8:45- 6名

会員6名で市内2か所のヤブレガサモドキの株数を調査しました。株の周囲の伸びている草木を刈り取りながら数えました。ネスタ敷地内の全域では昨年の757株から926株に増え、近くのため池土手では391株から438株に増えていました。ヤブレガサモドキの生育が見つかって最初の2016年の調査と比べるとネスタ内は約4倍、ため池土手は約2.6倍です。毎年冬にしている草刈り作業の効果が確実に出てきています。今回は小さな虫による食害が見られ、ネスタ内では花穂を着ける株数が大きく減少していました。また昨年の観察では不稔の種子ばかりの株が多いことなど気にかかることもあり、これからも継続した観察と管理が必要です。(文:丸岡道行)

5月21日(日)ふるさと公園植生調査と草刈り 9:00- 三愛研9名、水辺ネットワーク2名

5月25日(木)三役会議

5月27日(土)総会準備 市民活動センター2F 中会議室 15:00- 7名

5月28日(日)令和5年度通常総会 市民活動センター2F 中会議室 9:20-12:20 30名

6月1日(木)活動推進連絡会 教育センター 19:00- 10名

6月4日(日)初夏の生き物かんさつ&サツマイモつる植え 10:00-11:45 一般8名、会員11名

会員は9時に集合し園内の草刈り作業。10時になり北村理事長のあいさつで開会。まず、駐車場脇の溝に置かれた「もんどり」に入った生き物をたらいに移して観察。ドジョウ、トノサマガエル、メダカ、セトウチサンショウウオ(幼体)、ヌマガエル、アカガエルとシュレーゲルアオガエルのオタマジャクシが入っていました。園内ではモノサシトンボ、ハラビロトンボ、ショウジョウトンボ、キイトンボ、モンキチョウ、ベニシジミ、ツバメシジミなどの多くのトンボやチョウそしてササユリ、オカトラノオ、イシモチソウの花などを観察できました。観察の後、畑3畝にサツマイモのつる150本を植えました。10月の収穫が楽しみです。ふるさと公園周辺の田植えが終わった水田を渡る風が心地よい一日でした。



6月8日(木)三愛だより発送作業 市民活動センター 15:00-

ふるさと公園だより

ササユリが咲いています。
モノサシトンボの姿を多く見るよ
うになり、午後からはミドリシジミ
も飛んでいます。



ササユリ



イシモチソウ



ミドリシジミ



ヒツジグサ



アオイトトンボ



モノサシトンボ



ツバメシジミ



ショウジョウトンボ



モンキチョウ



クロイトトンボ



ヒメジャノメ

2023年6月中旬～7月 三愛研事業活動予定表

日	曜	行事 他	日	曜	行事 他
6月			7	金	
14	水	豊地小学校3年環境学習支援	8	土	
15	木		9	日	
16	金		10	月	
17	土		11	火	
18	日	草刈り 教海寺(細川町教海寺)9:00	12	水	
19	月		13	木	三愛だより発送作業 15:00
20	火		14	金	
21	水		15	土	
22	木		16	日	ふるさと公園植生調査と草刈り
23	金	水の中の生き物大発見テント設営 教海寺 15:00	17	月	海の日
24	土	水の中の生き物大発見 教海寺 集合8:00 開会9:30	18	火	
25	日		19	水	
26	月		20	木	
27	火		21	金	
28	水		22	土	
29	木	三役会議	23	日	
30	金		24	月	
7月			25	火	
1	土		26	水	
2	日	梅雨の公園かんさつ会 集合9:00	27	木	三役会議
3	月		28	金	親子川がき教室準備
4	火		29	土	親子川がき教室 集合8:00 開会9:30
5	水		30	日	
6	木	活動推進連絡会 19:00	31	月	

【備考】会費納入をお忘れなく。振込先は5月11日付け通常総会のお知らせ文書に記載しています。納められた会費が、法人運営の大事な資金として、さまざまな事業に活用されます。よろしくをお願いします。

□永幡さんの講演会は、ぶれのない情熱的な活動など感動を覚える内容でした。ページ数の関係で、大雑把に要約した内容の掲載しかできないのが残念です。

講演を聞かれた会員から感想が、理事にメールで届いたので掲載します。

編集者コラム

「永幡氏の講演は今私が考えている事と共鳴していて同感です。NHK番組の超進化論を見て、最新研究が生き物の方から人間社会を見る見方になっています。やはり、映像の力って大きいですよ。同じく、NHK番組の、欲望の資本主義や、映像の世紀や歴史番組を必死で見えています。でも、アウトプットの機会がありませんよね。加齢による、知識の蓄積も再構築力も衰えている。まあ、それでも興味のある分野を出来るだけ詰め込むか！これぞ本当の自己満足？でも、私にできるアウトプットは、考えながら足元の日常生活を続けること。」

□永幡さんの著書、岩波書店から出版されているブックレット「里山危機」がおすすめです。